

入間市コミュニティバスネーミングライツ事業

○経緯

コミュニティバス「ていーろーど」の運行については、車両減価償却費増による補填金の増加や新型コロナウイルスの影響に伴う収入減により歳入の確保が課題。

市とネーミングライツの契約を締結する企業に、マスコットキャラクターの車体掲載権を付与し、その収入をコミュニティバスの運行経費に充てることを目的とする。

○事業概要

市はコミュニティバスの車両に企業等のマスコットキャラクター名称を命名する権利を売却し、マスコットキャラクター等の車体掲載権を付与する。

市は、その収入をコミュニティバスの運行収入に充て、持続可能な運行を図ることで、市民の移動の足を確保し、民間企業等への地域活動及び社会貢献の場を提供する。

○協定金額

コミュニティバス1台あたり年額100万円

○締結企業

企業：入間ガス株式会社

所在地：入間市扇台1-5-25

- ・令和2年12月4日、「入間市コミュニティバスネーミングライツパートナー企業基本協定」締結。
- ・協定締結により、入間ガス(株)に入間ガスマスコットキャラクター「いるまるくん」の車体掲載権が付与され、ていーろーど「いるまるくん号」が誕生。

○運行開始日

令和3年2月頃

○運行路線

ていーろーど 健康福祉センターコース

■いるまるくん号のデザインコンセプト■

入間ガスのオリジナルキャラクターの「いるまるくん」を活用し、入間市コミュニティバスの名称を「いるまるくん号」と名付けました。親しみの沸くデザインとし、入間市コミュニティバスを身近に感じてもらえるよう、入間市の特産品狭山茶や市の鳥ひばり、航空自衛隊アクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」(航空自衛隊承認済み)などを描くことで入間市のPRに繋がっています。

